

平成 27 年度学校教育自己診断の結果と分析 [平成 28 年 1 月実施のまとめ]

アンケートを実施し、回答率、生徒 94.4%、保護者 37.2%(昨年度 61.2%、一昨年度 54.8%)、教員 100%により得られた回答を吟味した結果から、以下のような特徴的な傾向が見いだされた。

1. 単純比較は出来ないが、生徒、保護者と教員間には、意識の差があった。

2. クラス、学校が楽しいと感じている生徒が多い。(◎)

a+b ポイント%【 aよくあてはまる bほぼあてはまる】

生徒	1年	2年	3年	保護者	教員
84	90	82	79	77	89

但し、逆に、全く当てはまらない生徒もあり、尚一層丁寧な指導をする必要がある。

c+d%ポイント【cあまりあてはまらない d全くあてはまらない】

生徒	保護者	教員
16	23	9.1

3. 服装や頭髪指導は、きちんとされている。ただし、学校と家庭の間で意識の差がある。

生徒	1年	2年	3年	保護者	教員
91	92	90	92	89	55

4. 授業がわかりにくいと答えている生徒も多く、尚一層の工夫と改善が求められる(×)。

学校の授業はわかりやすいか。c+d%ポイント

【cあまりあてはまらない d全くあてはまらない】

生徒	保護者	教員
15.8	23.1	9.09

5. 行事に関心を示す生徒が多く、楽しみにしている。内容の工夫等、さらに充実させていく必要がある。

・文化祭や体育祭など授業以外の学校行事に参加するのは楽しい。

a+b ポイント%【 aよくあてはまる bほぼあてはまる】

生徒	1年	2年	3年	保護者	教員
70	80	60	70	75.19	67

6. 生徒は、悩みや相談に対して、もっと親身になって応じて欲しいと思っている。

・りんくう翔南高校の先生は、悩みや相談に親身になって応じてくれるか。

c+d%ポイント【cあまりあてはまらない d全くあてはまらない】

生徒	保護者	教員
39	30	20

7. 実力診断テストについては、必要性は認めている生徒も多い反面、当てはまらないと答えている生徒も一定数いる。内容の吟味が必要なかもしれない。

8. 人権や災害訓練などについて、教員は、よく頑張っていると思っているが、生徒には、十分伝わっていないところもある。より一層、機会を効果的に活用していく必要がある。

9. 教員は、部活動・外部との連携に努めているが、まだ、充分には生徒には浸透していない。

10. 授業公開等をしているが、外部からの見学等が少ない。他にも学校を開く取組みを工夫し推進していく必要がある。地域や他校との連携を生徒にも分かりやすいように進めていく必要がある。

11. 学校全体で組織的に取り組んでいる生徒指導ではあるが、日頃の教職員の話し合いの場がやや少なくなっているようである。内容や指導体制について再考すべき時期かもしれない。

12. 記述項目の内容からも、生徒指導や授業に関するもの、行事に関するものが多く、今後ともこれらの項目について、さらに前向きに取り組んでいく必要がある。